

7 審査・認証にかかる費用

(1) 審査・認証にかかる費用（JGAP・ASIAGAP）

審査・認証においてかかる費用として、①「審査・認証料」、②「審査員交通費（旅費）」、③「認証農場登録料」が必要となる。

「審査・認証料」、「審査員交通費（旅費）」は、農場の規模、個別・団体認証、認証機関によって異なるため、まず見積もりを行う。

一つの農場でも、「青果物」、「穀物」、「茶」から複数の認証を取得する場合、認証それぞれに費用がかかる。

1) 審査・認証料

審査の時間および日数によって変動する。基本的には標準の審査時間が定められているが、時間を超過した場合は追加で超過料が発生する。目安として書類・現地審査で1日実施（JGAP個別認証）の場合、68,000円（税抜）かかる。

団体認証では、農場と団体事務局それぞれに審査料が発生する。審査はサンプリングにより行われるため、団体を構成する農場数が多いほど1農場当たりの審査料を軽減できる（10農場だと約6割、30農場で約8割を軽減）。

2) 審査員交通費（旅費）

認証機関によって、実費または金額が定められている。審査員の移動時間が長時間に及ぶ場合（例えば往復4時間以上）の超過料、審査時間の都合で前後泊費用の負担が必要となることもある。

3) 認証農場登録料

日本GAP協会への農場登録料として、認証ごとにかかる。初回・更新審査時に2年分（10,000円）を、審査認証機関を通じて日本GAP協会に支払う。

4) その他

品目や農場・農産物取扱施設の追加や変更などを途中で行う際、都度費用が発生する場合がある。

審査・認証にかかる費用の目安（JGAP・ASIAGAP）

	GAP種別	金額	備考
審査・認証料	JGAP	68,000円	・申請時の事務手数料から審査・認証に関する料金 ・現地審査4時間の場合の目安(税抜)
	ASIAGAP	180,000円	
審査員交通費	実費 (10,000円前後)		・審査員の所在地から計算 ・別途宿泊費用が発生する場合あり
認証農場登録料	10,000円		・初回・更新審査時に2年分として支払う
合計	JGAP	約88,000円	・維持審査時は左記より10,000円引いた額となる
	ASIAGAP	約200,000円	

(2) 審査・認証にかかる費用（GLOBALG.A.P）

JGAP・ASIAGAPと同様に、①「審査・認証料」②「審査員交通費（旅費）」③「認証農場登録料」が必要となる。

G L O B A L G . A . P . は毎年更新（認証審査）であること、抜き打ち審査（審査 48 時間前まで農場に通知されない審査）があることから、年間少なくとも 2 回審査を受ける必要があるため、J G A P ・ A S I A G A P と比較すると、かかる費用は多くなる。

審査・認証にかかる費用の目安（G L O B A L G . A . P .）

農場名	個別・団体	認証年	認証品目数	金額	備考
北海道岩見沢農業 高等学校*1	個別	平成29年	9 (H29年)	694,704円	うち審査員旅費等67,000円
JA北ひびき 野菜特別栽培部会*2	団体 (9戸)	平成21年	5 (H30年)	約120万円	1農場当り約14万円

*1.平成30年度北海道GAP導入推進セミナー(平成31年3月)資料を基に作成

*2.平成29年度北海道GAP導入推進セミナー(平成30年3月)資料を基に作成

(3) 管内における審査費用の事例

管内におけるG A P 審査・認証にかかった費用の事例として、湧別町N農場のケースを紹介する。

J G A P 個別認証(たまねぎ)において、①審査・認証料、②審査員交通費(旅費)、③認証農場登録料の合計として141,858円かかっていた。ただし、この事例では、近隣の2農場と合わせて3農場の審査が連続した3日間(それぞれ1日ずつ)で行われ、審査員交通費(旅費)を3農場で等分負担した。そのため、N農場が実際に負担した費用は103,447円と軽減されている。

湧別町N農場の事例(J G A P)

	A	金額	B	3農場按分した金額	備考
審査・認証料		68,000円		68,000円	個別認証(たまねぎ)
審査員交通費 (実地審査料)		18,720円		*6,240円	札幌・湧別間(約200km)を自家用車
		8,240円		*2,747円	高速道路料金
		11,880円		*3,960円	宿泊費用(2泊)
		16,000円		*5,334円	移動時間往復8時間のため、超過4時間(2,000円/30分)
認証農場登録料		10,000円		10,000円	初回審査のため、2年分
消費税		9,018円		7,166円	税率8%(高速道路料金・宿泊費用を除く)
合計		141,858円		103,447円	

*実地審査は湧別町内の3農場で連続的に行われたため、審査員交通費を按分。N農場の実際にかかった費用はBとなる。

8 G A P導入に関する共通の問題点と改善方策

(1) G A Pに取り組む上での共通の問題点

G A P 認証農場の事例調査結果から、G A Pを導入する農場の共通課題として、①データ管理（記帳、集計など）に手間がかかる、②施設改善や審査・認証に経費がかかる、③販路拡大や売り上げに結びつかないことが共通の問題点として挙げられた。

今後より一層、当管内のG A P普及推進を図る上で、これらの問題点の解決方策を本調査研究の担当普及指導員によるグループディスカッションにより検討した。

グループディスカッションでは、問題点ごとに「農業者が取り組むこと」、「普及センターが取り組むこと」、「関係機関が取り組むこと」を明らかにした。

(2) 問題点の解決方策

1) データ管理の簡素化

農業者は、有料であってもG A Pに対応したデータ管理のソフトやアプリの利用希望があるが、年齢層によっては苦手意識を持っている場合も多い。そのため、まずは細目に記帳する習慣をつけ、農場の従業員全員が理解できるように、記帳の様式を誰もがわかるように簡素化することが必要と考えた。

普及センターは、農業者がどの項目のデータ管理に苦慮しているかを捉え、数多くのデータ管理ソフトの情報を収集・精査し、農業者へ研修会などで情報提供したり、誰でも操作できるよう指導することが必要と考える。

関係機関には、生産履歴などの記入項目がG A Pの項目に連動できるようなシステムの開発や地域の経営に応じたソフトの開発を期待したい。

2) 団体認証による諸経費の抑制

農業者は施設改善に必要な最小限のものをリスト化し、自作や中古利用などできるだけコストを抑えた改善を検討する。

普及センターや関係機関は、安価で取り組んだ他農場の事例などを情報提供する。また、団体認証を目指すことで、審査費用の軽減を図るとともに、資材の一括購入や国の補助事業について助言を行う。

審査・認証費用を抑えるには、地域で審査時期を合わせられるよう農場同士が情報共有し、まとめて審査依頼するなど審査員旅費をできるだけ抑える方法もある。

3) 商談会・SNS・食育等を活用した消費者PR

G A Pの認知度が低いのは、消費者の認知度が低いことがひとつの課題である。消費者の認知度を上げるために、農業者は商談会などでマッチングの機会を活用したり、農業者からのSNSを活用したPR方法もあると考える。

普及センターはホームページや普及センター便りなどで、「G A Pとは何か」、「取得農場の紹介」など、分かりやすく情報発信を行うことに務める。

関係機関は食育の一環として、将来の消費者となる子供たちにG A Pについて紹介したり、メディアを利用してタレントやキャラクターの起用によりPRするよう働きかける。

これらの課題と推進方策を踏まえ、「農業者」、「普及センター」、「関係機関」がそれぞれ課題に向けて取り組むことで、より多くの農業者が営農改善のツールとしてG A Pを活用することが持続可能な農業の実現につながると考える。

9 写真で見るGAPの取組事例

GAPに取り組んだ農場の改善事例や工夫した事例の一部を参考として掲載した。

(1) 環境整備の事例



整理整頓された作業用具類
(湧別町)



工具や農具が収納された格納庫
(佐呂間町)



トラクターや作業機が整然と
並べられた格納庫
(津別町)

(2) 農薬保管庫の設置・保管庫内の改修事例



JRコンテナを利用した農薬保管庫（保
管庫内の右上の換気口は自作で取り付け
た）（湧別町）



鍵付きの物置を利用した農薬
保管庫（美幌町）



農薬専用に販売されている
保管庫を利用（津別町）



農薬の流出対策として設置した
掃除用具（湧別町）



農薬の転倒・落下・流出防止対策
(佐呂間町)



農薬散布に使用する防除衣
(津別町)

(3) 肥料保管の事例



フレコンの下にシートを敷いて保管
(佐呂間町)



袋詰め肥料の下にパレットを
敷いて保管（津別町）



液肥や葉面散布剤の保管（農薬保管庫
に入れない）（訓子府町）

(4) 燃料保管の事例



燃料の保管場所
(津別町)



燃料の容器に油種を表示
(湧別町)



燃料タンクと消火器
(湧別町)



燃料タンクに設置した
防油堤 (訓子府町)



中古の水槽を加工し安価に
設置した防油堤 (津別町)



ノズルからの燃料漏れの対策として
オイル缶を設置 (佐呂間町)

(5) 廃棄物保管・分別の事例



使用済みのフレコンを利用した
廃棄物保管 (湧別町)



分別して保管している廃棄物
(湧別町)



農業空き容器の保管
(佐呂間町)

(6) 食品安全に関する取組事例



洗剤等を備えた手洗い設備
(佐呂間町)



選果施設の蛍光灯に飛散防止
フィルムを設置 (津別町)



清潔な手袋を着用して
収穫作業を実施 (津別町)

(7) 環境保全に関する取組事例



堆肥の流出対策として堆積場所
周辺に溝を施工（美幌町）



堆肥の流出対策として堆積場所
周辺に盛り土を施工（湧別町）



トラクターからのオイル漏れ対策
として鉄板を設置（津別町）

(8) 労働安全に関する取組事例



緊急連絡網も入れた救急箱
（湧別町）



はしごを使用する際に着用する
ヘルメット（美幌町）



普通救命講習（上）とフォーク
リフト運転技能講習の修了証
（湧別町）



危険な場所を記載したほ場図
（佐呂間町）



警察・消防・病院等緊急連絡先の掲示物
（佐呂間町）